

シラバス (介護職員基礎研修)

指定番号 _____ 課程 介護職員基礎研修課程
 法人・団体名 株式会社 松島紙店
 課程編成責任者 小又幸成

研修区分 標準型(500時間) 実習免除型(300時間) 科目免除型(I)(200時間) 科目実習免除型(I)(60時間)
 科目免除型(II)(350時間) 科目実習免除型(II)(150時間) 演習及び実習(実習事業者のみ)

科目番号・科目名	(3) 高齢者・障害者等の疾病・障害等の理解			
指導目標	<ul style="list-style-type: none"> ・加齢・老化に伴う変化及び各種障害、主要疾患の概要について理解させる。 ・介護場面で直面する頻度の高い症状、疾病、障害を医学的に理解させる。 			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学 時間数	うち 通信 時間数	目標・講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 加齢の生理	6	6	0	《目標》加齢・老化に伴う生理的な変化や心身の変化・特徴について説明できる。高齢者の生理的な変化に伴う基本的な生活上の留意点について説明できる。 《講義内容》・加齢の生理学 ・高齢者の栄養と睡眠
② 高齢者に多い疾病の医学的理解	12	12	0	《目標》高齢者に多い疾病の種類と、その症状や特徴及び治療・生活上の留意点、予防について説明できる。 介護保険での特定疾病の種類を列挙することができる。 《講義内容》・三大死因の疾病 ・高血圧と糖尿病・循環器系疾患 ・眼科疾患・皮膚科疾患・泌尿器系疾患 ・呼吸器疾患 ・筋骨格系疾患・精神疾患 ・神経系疾患 介護保険での特定疾病
③ 障害と疾病	6	6	0	《目標》障害の概念 (I H I D H, I C F) について、その変遷も踏まえて説明できる。各障害の内容・特徴及び障害に応じた社会支援の考え方について概説できる。 《講義内容》・障害の概念 ・知的障害、ダウン症、自閉症、学習障害等・身体障害・精神障害 ・視覚障害、言語・聴覚障害 ・内部障害
④ 感染症の理解と予防	6	6	0	《目標》高齢者に起こりやすい主な感染症の種類とその特徴、発病のメカニズム、及び基本的な予防法について概説できる。 《講義内容》・感染症の種類と特徴 ・高齢者に起こりやすい感染症・予防と留意点・感染症の媒介とならないための介護上の留意点
⑤ 訴えと症状の理解	6	6	0	《目標》高齢者の疾病による症状や訴えについて、その内容・特徴を具体的に挙げるとともに、基本的な対応方法を事例に基づいて説明できる。バイタルサインの種類とメカニズム、意味するところ、基本的な計測の仕方等について、具体的な生活場面に基いて説明できる。 《講義内容》・健康チェックとバイタルサイン ・呼吸器症状と感染症等の疾病・消化器症状と食中毒等の疾病・その他の訴え・症状と疾病
修了評価				
(合計時間数)	36	36		

※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。

※ いくつかの項目をまとめて、時間数を設定しても差し支えない。

※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙4に定める時間以内とすること。

※ 通信学習を実施する項目については、**通信学習課題**を提示すること。(既に提示したものを除く。)